

安心・安全な毎日のために

春季全国火災予防運動が
始まります

★3月1日(月)～7日(日)

市内では毎年、農繁期が始まる3～4月に、たき火を原因とする火災が集中して発生しています。
春先は空気が乾燥し、風が強くなるため、火災が発生すると広範囲に燃え広がる恐れがあります。火災を起こさないために次のことに注意しましょう。



- 火を付けたら完全に消えるまで目を離さず、その場を離れない。
 - 水バケツなどの消火用具を準備し、完全に消火する。
 - 空気が乾燥しているときや、風の強い日には屋外で火を使用しないようにする。
- ※ごみ焼きは県条例などに違反します。

2020年度
全国統一防火標語

その火事を
防ぐあなたに
金メダル

庄原消防署 ☎0824・72・9911
東城消防署 ☎08477・2・4005

新型コロナウイルス感染症予防
のため消毒・除菌をしましょう

新型コロナウイルス感染症予防では、手指に付いたウイルスを洗い流すことが重要です。せっけんやハンドソープを使い、丁寧に手洗いをすることで、手に付いたウイルスを十分に減らすことができます。



手洗いがすぐにできない状況では、アルコール消毒も有効です。携帯用のアルコール消毒液も販売されています。ぜひ活用してください。なお、アルコール消毒液は、火気の近くで使わないようにしましょう。手すり・ドアノブなどの消毒には、アルコール消毒よりも0・05%に薄めた塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)による消毒が有効です。



※現在「消毒」や「除菌」の効果をうたう、さまざまな製品が販売されていますが、目的にあった製品を正しく選び、正しい方法で使います。

市政ピックアップ

SHISEI Topics

農業
振興課

さらなる和牛振興に向けて

「比婆牛」の消費拡大と増産への取り組み支援

1月11日～31日、広島駅南北自由通路階段のデジタルサイネージ(電子看板)に「比婆牛」の広告を掲載しました。多くの人が通勤や通学などに使う広島駅内に広告を掲載することで、「比婆牛」をPRし、認知度の向上と販路拡大につなげます。

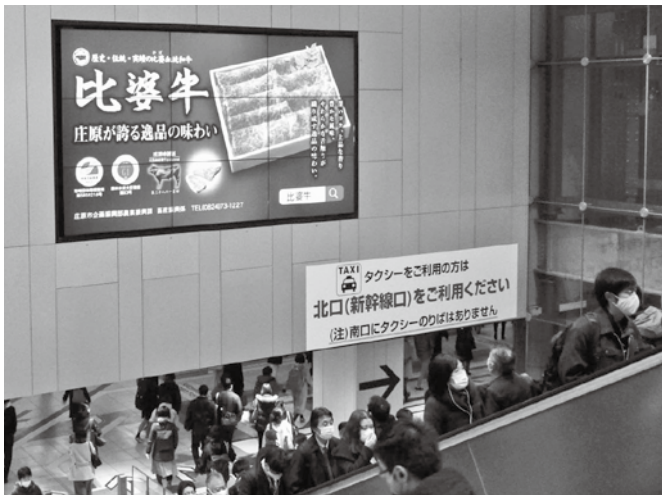
「比婆牛」は平成26年7月に復活し、平成28年6月17日に特許庁より「地域団体商標」に全国で600件目として登録されました。

その後、令和元年9月9日には農林水産省より「地理的表示保護制度(GI)」に全国で83件目、広島県内で初めて登録されており、ブランド価値の向上が期待できます。

また、市は和牛増産の取り組みを進めています。

日本の肉用牛生産において、生産農家などの減少に伴い、子牛の供給不足が深刻化している中、和牛の生産供給手段として重要性を増しているのが、乳牛を代理母牛とした、受精卵移植です。

この技術は、「比婆牛」の増産にもつながるものとして、期待が寄せられています。今後も積極的に「比婆牛」のPRを行うことで消費拡大を進めるとともに、さまざまな技術を活用した「比婆牛」増産に向けた取り組みへの支援を行い、県内最大の和牛地帯である庄原の、さらなる和牛振興を図ります。



広島駅での比婆牛の広告掲載の様子